

## 思いやりのある子

先週の金曜日、3年生の遠足でした。横浜にあるズーラシアという動物園に行ってきました。お天気にも恵まれ、よい思い出になったと思います。

その日は、多くの団体が来ていて、けっこう混んでいました。動物が見やすい場所もあるのですが、他の団体がいて、その場所があいていないなんてこともありました。

ある場所で、3年生の人たちが動物を見ていたのです。そこに、幼稚園か保育園の子供たちがやって来ました。当然3年生の人たちより小さい子供たちです。すると3年生のある子が、さっと後ろに下がって、小さい子供たちに動物を見せてあげたのです。場所を譲ってもらった小さい子供は、うれしそうな笑顔があふれていました。

暑い日で、しかもたくさん歩いて、私は少し疲れていたのですが、なんだかうれしくなり、元気が出てきました。

4月16日は、5、6年生の鎌倉への遠足でした。鼓笛隊の同じ楽器の人とグループを作り、そのグループ毎に山登りをしたのです。

急な坂道や、たくさんの階段、がけなどがあり、結構険しい道でした。ある子が、下りのがけで足を踏み外して、足をくじいてしまったのです。歩くのも少しつらそうでした。すると、同じグループの仲間が声をかけていました。「大丈夫？」、「あと少しだよ。」声をかけているのは、5年生も、6年生もです。そして、リュックを持ってあげたり、手を貸してあげたりしています。

二つの遠足で、私は「代々木山谷小学校の人たちは、優しい子が多いな。」「自分のことより、人のことを考えられる子がいる。気持ちがいいな。」そんなことを感じました。

代々木山谷小学校の教育目標の一つに「思いやりのある子」があります。お友達に優しい言葉をかける、困っている人がいたら「大丈夫」と声をかける、自分のことより人のことを考える、そんな思いやりのある子が多い学校にしていきたいでしょう。